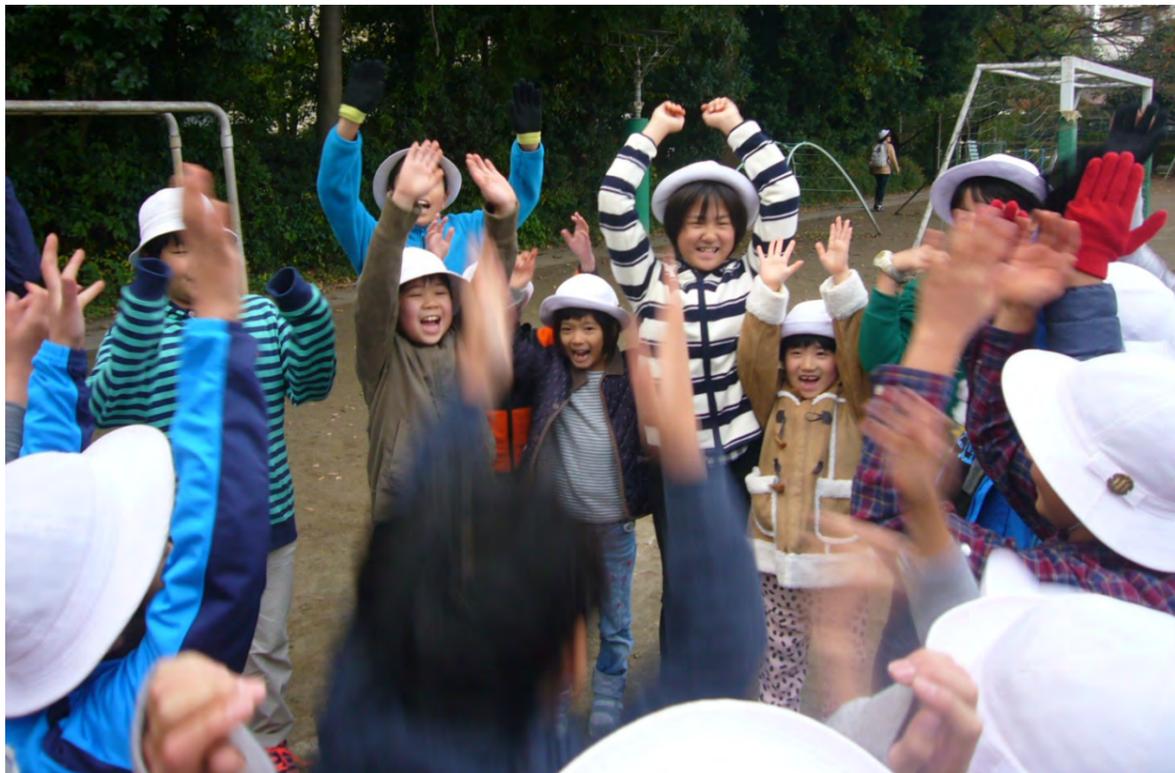


# 全校遠足



恒例の多峰主山（とうのすやま）への遠足です。きくまつりのように一日中生活団で過ごします。下級生の手をひいて、面倒をみる上級生の姿は、微笑ましいものです。また、6年生は地図を見て、どの道に行くのか、お弁当はどこで食べるのか、全てを子ども主体で動きます。道に迷って、どうしようかみんなで村したり、疲れたと言って6年生が1年生のリュックを持ってあげたりするのもいい思い出となるでしょう。一日、生活団の仲間たちと一緒にいるといろんな話できるものです。この日に、一気に絆が深まった、という感想を持った子どもも多数いました。

遠足の最後には、一人ずつの感想発表があります。一年生も、かわいらしく楽しかった様子を話してくれます。6年生は、最後の遠足での思いを語ってくれます。「この遠足が、終わってほしくないなあ。」そんな感想を述べた6年生もいました。絆の深まりを確かめ合う、大切な時間です。